

事項五 日中軍事協定廃棄ニ関スル件

一七八 一月十二日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

日中軍事当局間ノ軍事協定廃棄ノ覚書交換ニ

伴ヒ外交総長トノ間ノ公文交換方ニ関シ訓令
ノ件

附記 大正九年十二月二十八日小幡公使宛内田外務大
臣宛電報第一三六八号

第一五号

客年貴電第一三六八号ニ関シ

一月十二日陸軍大臣ヨリ東少将ニ対シ同少将ヲ陸軍代表者
ニ指定シ軍事協定ニ所謂戦争状態終了ノ時期ニ達シタルコ
トヲ承認スル旨ノ覚書ヲ交換スヘシトノ電訓ヲ發セリ海軍
側ヨリモ貴地駐在武官ニ対シ同一趣旨ニ依リ訓令ノ答就テ
ハ右軍事当局間ニ覚書交換ノ上ハ予テノ手順ニ從ヒ貴官ト
外交総長トノ間ニ公文ノ交換ヲ了セラルル様致度ク尤モ右
公文ノ趣旨ニ付テハ客年往電第六九五号末段ヲ以テ申進シ
タル要旨ノ外軍事協定カ其効力ヲ喪失セルコトヲ承認スル

省側モ異議ナキ旨陸軍総長ノ伝言トシテ言明セリ(同少将
發電報御覽アリタシ)就テハ最早ヤ外交部方面ヨリ再抗議
ノ虞ハ万コレ無キモノト認メラルルニ付直ニ軍事協定廃止
ノ取極ヲ実行スル考ニ付右様御承知置キアリタシ
註 小幡公使宛第一三三六号ハ日本外交文書大正九年第二冊下
巻五七六文書(六九二頁)

一七九 一月十三日 田中陸軍大臣ヨリ
内田外務大臣宛

日中軍事協定廃止ニ付陸軍大臣ヨリ東陸軍武

官ヘ訓令ノ旨通報ノ件

附記 一月七日軍事協定廃止ト東支沿線駐兵ニ関スル
件ニ付陸軍省ヨリ外務省ニ内示ノ件

陸軍省
送達陸密第四号 (一月十四日接受)

軍事協定廃止ニ関スル件通牒

大正十年一月十三日

陸軍大臣男爵 田中 義一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

首題ノ件ニ関シ在北京帝國公使館附武官陸軍少将東乙彦ニ

五 日中軍事協定廃棄ニ関スル件 一七九

旨ヲモ併記シ置クコト然ルベシト思考ス

註 小幡公使宛内田大臣宛電報第一三六八号ニ付テハ左掲ノ附
記參看

(附記)

大正九年十二月二十八日小幡公使宛内田外務大臣宛電報第一三
六八号

東支鐵道沿線駐兵及日中軍事協定廃止ニ関シ稟申ノ件

第一三六八号

往電第一三三六号ニ関シ

十二月二十八日張志潭ノ使トシテ熊該本官ヲ來訪シ過般孫
潤宇來訪ノ際本官談話ノ次第ハ其後外交総長ニモ篤ト話合
ヒ外交部ヨリモ決シテ此上東支沿線駐兵ニ抗議スルコトナ
キニ付安心アリタク尤モ外交総長トシテハコレ迄ノ行懸モ
アルニ付表向キ之ヲ約束スルハ致シ難キモ實際上確實ニ此
了解ヲ確守スベキハ勿論陸軍当局ヨリ此旨東少将ニ通告ス
ルコトトスベキニ付此上ハ右張ノ斡旋ニ信賴シテ一日モ早
ク双方軍事当局者間ニ協定廃止方商議ノ歩ヲ進ムルコトト
致度ト申出デタルガ同日余督蘇東少将ヲ來訪外交総長東三

對シ左記ノ要旨電訓致候条承知相成度候也

左記

一、貴官ヲ帝國陸軍代表者ニ指定ス依テ支那國陸軍代表者
トノ間ニ戦争状態終了ノ時期ニ達シタル覚書ノ交換ヲナ
スコト

二、右覚書ハ左ノ通りトス

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國協同防禦ノ必要消滅シタ
ルヲ認メ茲ニ大正八年二月五日調印ノ日支軍事協定有効
期限ニ関スル協定ヲ取消シ本文書ノ交換ノ日ヲ以テ協定
第十一条第二項戦争状態終了ノ時期ニ達シタルコトヲ認
ム

三、右覚書ノ交換ヲ終ラハ日支兩國外交当局ニテ軍事協定
廃止ヲ声明スル為速ニ報告ノ上小幡公使ニ移牒スルコト

(附記)

一月七日軍事協定廃止及東支鐵道沿線駐兵ニ関スル件ニ付陸軍
省ヨリ外務省ニ内示ノ件

大正十年一月七日

陸軍省

軍事協定廃止ト東支沿線駐兵ニ関スル件

客年九月十七日ノ閣議ニ於テ軍事協定廃止ニ関スル決定ア

二七五

リタル際東支沿線駐兵問題ハ軍事協定ト関係ナキヲ以テ別ニ之ヲ解決シ愈々協定廃止ノ場合ニハ現下ノ狀況我北滿駐兵ノ必要ナル所以ヲ支那側ニ了解セシムル事トナリタルガ其後支那側ヨリ再三協定廃止ヲ申出テ且ツ顔外交総長ヨリ小幡公使ニ対シ北滿撤兵ヲ提議シ来リタルヲ以テ坂西、東少将ハ靳総理ト会谈交渉ノ結果十一月十九日外交部ヨリ小幡公使ニ対シ北滿駐兵ニ就キ抗議ヲ提出シタルハ當時外交部ト総理トノ了解未タ完カラサルニ依リタルモノニシテ今後ハ斯クノ如キ事ナキ旨ヲ明言シ又東三省方面張作霖等トモ日本軍駐兵ノ了解着キタルヲ以テ貴国ノ駐兵ハ成ルヘク現状ニ止メ寧ロ之ヲ減スルモ増加セサルコトニ努メラレ度キ旨懇願シ尚駐兵承認ノ覚書等ノ交換ヲナサス余(靳)ノ言明ニテ満足セラレ度キ希望ヲ申出テタルヲ以テ支那側ノ北滿駐兵承認ハ靳総理ノ言質ニヨリ之ヲ認メ茲ニ軍事協定ヲ廢止スル事トシ東少将ヲ帝國陸軍代表者ニ指定シ別紙^(註)ノ通訓令セントス

(欄外註記)

「陸軍ヨリ閣議稟請ノ答」

註 別紙へ前記田中陸軍大臣ヨリ内田外務大臣宛通報セラレタル東武官宛電訓ト同文ナルニ付省略ス

ス

二、貴官ハ帝國陸軍代表者東陸軍少将ト氣脈ヲ通シ支那國海軍代表者トノ間ニ戦争状態終了ノ時期ニ達シタル覚書ヲ交換スヘシ

三、覚書ハ左ノ通トス

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國協同防禦ノ必要消滅シタルヲ認メ茲ニ大正八年二月五日調印ノ日支軍事協定有効期限ニ関スル協定ヲ取消シ本文書交換ノ日ヲ以テ協定第八條第二項戦争状態終了ノ時期ニ達シタルコトヲ認ム

四、右覚書ノ交換ヲ終ラハ日支兩國外交当局ニテ軍事協定廢止ヲ声明スル為速ニ報告ノ上小幡公使ニ移牒スヘシ

右訓令ス

追テ本電報ヲ受領セハ其旨電報スヘシ

一八一 一月十七日 東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

日中軍事協定廢止ニ付日中陸軍代表者間ノ調印

内定報告ノ件

至急親展陸同文 (写一月十九日外務省接受)

支三一

五 日中軍事協定廢棄ニ関スル件 一八一 一八二

一八〇 一月十三日 井出海軍次官ヨリ
埴原外務次官宛

日中軍事協定廢止ニ付海軍大臣ヨリ八角海軍

武官へ訓令ノ旨通報ノ件

官房機密第五二号 (一月十三日接受)

大正十年一月十三日

海軍次官 井出 謙治(印)

外務次官 埴原 正直殿

日支軍事協定廢止ニ関スル件

本件ニ関シ別紙ノ通海軍大臣ヨリ支那在勤帝國公使館附海

軍武官八角大佐ニ対シ訓令相成候間御承知相成度

右回牒ス

(別紙)

大正十年一月十二日發

発信者 海軍 大臣

支那在勤帝國公使館附武官宛

官房機密第三番電報

一、日支軍事協定廢止ニ関シ貴官ヲ帝國海軍代表者ニ指定

軍事協定取消ニ就テハ訓令ニ從ヒ左ノ如キ文書ニ彼我陸軍代表者ノ調印ヲ行フコトニ内定シ陸軍部參事余晉蘇ヲ介シテ靳総理ニ協議セシメタル処総理ニ於テハ異存ナク近ク日ヲ定メ陸軍次長金紹曾ヲ代理トシテ当方ニ派遣シ調印セシムヘク回答シ来タレリ追テ本文書ハ日支両文各二通ヲ作り調印ノ上双方各一通ヲ保管スル筈ナリ

左記

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國共同防敵ノ必要消滅シタルヲ認メ茲ニ大正八年二月軍事協定有効期限ニ関スル協定ヲ取消シ本調印ノ日ヲ以テ軍事協定第一條第二項戦争状態終了ノ時期ニ達シタルコトヲ承認ス

一八二 一月二十一日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢止ノ交換公文案承認方稟請ノ

件

別電 同日在中國小幡公使館内田外務大臣宛電報第六

六号 右交換公文案

別記 一月二十二日小幡公使館内田外務大臣宛電報第

六八号 右交換公文案中訂正ノ件

第六五号(大至急) (一月二十二日接受)

軍事協定廢止ニ関スル本使、外交総長間交換公文案外交部ト協議シ別電第六六号ノ通一応作成セリ至急御承認ヲ請フ

(別電)

一月二十一日在中國小幡公使發内田外務大臣宛電報第六六号
日中軍事協定廢止ノ交換公文案

別電第六六号(大至急) (一月二十二日接受)

(甲) 外交総長發本使宛公文案(字句ノ詳細ハ外交総長ヨリ國務總理ニ伺ヲ経タル上確定ノ事) 訳文左ノ通

「以書翰啓上致候陳者日支兩國ハ曩ニ協同防敵ノ為駐日本國公使ト貴国外務大臣トノ間ニ公文ヲ交換シ且兩國軍事當局者ノ間ニ陸軍軍事協定及海軍軍事協定ヲ議定シ置キタル処茲ニ本國陸海軍兩部ヨリ現ニ兩國軍事當局者ニ於テ戰爭狀態既ニ終了ノ時機ニ達シタル事ヲ承認スル旨ノ覚書ニ調印セリトノ報告有之本総長ハ右覚書ヲ確認シ駐日本國公使ト貴国外務大臣トノ交換公文及双方議定ノ陸海軍軍事協定並該協定ニ基ク各種附帶文書ハ等シク本日ヨリ完全ニ其効力ヲ喪失セル事ヲ茲ニ声明致候間右様御承知相成度尚本総長ハ貴我兩國ガ本軍事協定ニ依リ能ク協同防敵ノ功ヲ

一八三 一月二十二日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

日中軍事協定廢止ノ交換公文案及本件發表ニ

関シ回訓ノ件

第三九号 至急

貴電第六五及六六号ニ関シ交換公文案御來示ノ通ニテ異存無シ尚右公文交換ノ上ハ軍事当局覚書ト共ニ兩國同時ニ公表スルコトニ取計ヒ度ニ付公文及覚書日附並發表日取予メ打合セノ上電報アリ度ク尚又同時ニ本件經過ノ大要在支各領事へ電報方貴官ニ於テ可然取計ハレタシ

一八四 一月二十二日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢止ニ関スル交換公文案ノ一部

修正方中國側申出ニ付請訓ノ件

第七一号 大至急 (一月二十三日接受)

往電第六六号交換公文ハ大体確定ト見テ差支無シト外交部員申居リタル故不取敢請訓シタル次第ノ処二十二日外交総長ヨリ國務總理其他閣員ニ提示ノ結果軍事協定ハ何分ニモ世間ノ非難喧シキ問題ニ付未段満足ヲ表スル一節ハ是非共

五 日中軍事協定廢棄ニ関スル件 一八三 一八四 一八五

奏スルヲ得タルニ對シ深ク満足ノ意ヲ表シ候右貴國政府ニ御転達相成度此段照會旁得貴意候 敬具

(乙) 本使發外交総長宛公文案左ノ通

「以書翰啓上致候陳者本日附何号貴翰ヲ以テ御申越ノ趣閱悉(此間ニ(甲)「日支兩國ハ」ヨリ「満足ノ意ヲ表シ候」迄ヲ入ル但シ「駐日本國公使ト貴国外務大臣」ヲ「帝國外務大臣ト日本駐劄貴國公使」ト改メ「本國陸海軍兩部ヨリ現ニ兩國軍事當局者」ヲ「帝國陸海軍各代表者ヨリ現ニ右各代表者及貴國軍事當局者」ト改メ「本総長」ヲ「本使」ト改ム) 此段照復得貴意候 敬具」

(附記)

一月二十二日在中國小幡公使發内田外務大臣宛電報第六八号
日中軍事協定廢止ノ交換公文案中訂正ノ件

第六八号(至急) (一月二十二日接受)

往電第六六号ニ関シ

「調印セリトノ旨」ヲ「調印セル趣」ト訂正シ「報告有之」ノ次ニ「候」ヲ加ヘ「照會旁」ノ「旁」ヲ削ラレタシ

削除ニ同意アリタキ旨尚他ニ一二ヶ所字句挿入及變更希望ト共ニ外交部ヨリ申越アリ右満足云々ノ一節ハ強ヒテ固執スル必要モ無之乎ト存ゼラルルニ付削除ニ同意シ可然哉他ノ挿入及變更ニ就テハ尚交渉ノ上可成往電第六六号ニ近ゾクル様致スベキモ從來貴電御訓示ノ趣旨ニ反セザル限又往電第六六号ト単ニ字句上ノ差異ニ過ギザル限一々請訓ニ不
及同意ヲ表シ可然哉色々ニグラツキ甚ダ遺憾ナルモ右ノ御
含ニテ往電第六六号ニ對シ御回訓ヲ請フ

一八五 一月二十二日 八角在中國日本公使館附海軍武官
ヨリ 井出海軍次官宛(電報)

日中軍事協定廢止覚書ノ案文作成ノ交渉經過

報告ノ件

大正十年一月二十二日 (写一月二十五日外務省接受)

極秘 在支公使館附武官

海軍次官

四百四十九番電

軍事協定廢止交渉其ノ後ノ情況左ノ如シ

一、陸軍側ニテハ去ル十九日午後六時調印スルコトニ決シ

居レルニモ拘ハラズ同日午後海軍部陳軍務司長ハ支那陸軍部ニ至リ交渉原案文ニ「軍事協定及附屬細則一切効力ヲ失フ」ナル文句ヲ附加ヘンコトヲ協議シ支那陸軍部軍務司長モ之ニ同意シタル趣ニテ調印延期ヲ陸軍交渉主任タル余參事ヨリ坂西陸軍少將及我陸軍武官ニ通シ来リタルモ我方ニ於テハ其ノ必要ナキコトヲ述ヘ予定ノ如ク調印ヲ主張シタルヲ以テ余參事ハ陳司長ニ小官トモ交渉スヘキ様申含メ陳司長ヲ小官ノ下ニ送り来リタリ依テ小官ハ陳司長ニ對シ効力ヲ失フ旨ハ政府交換文書ニテナスコトトシ軍事当局ニ於テ支那ガ平和條約ニ調印セザル關係上其終了時機ヲ協定スル必要アルニ付原案ニテ差支ナキニ非ズヤト説明セシモ支那陸軍側ニテモ修正ノ筈ナリト主張セシヲ以テ小官ハ支那陸軍側ニテ原案通調印セル場合海軍側ノミ「効力ヲ失フ」旨ノ文句アルハ(脱)コトト思ハルルガ夫ニテモ尚修正ヲ主張セラルルヤト云ヒシニ其ノ場合ハ又別ニ考フヘシトテ引取レリ

二、翌二十日支那陸軍側ニテハ再ビ原案ニテ調印スルコトトナリタルモ支那海軍側納得ノ要アリトテ支那陸軍當局者及外交部側ヲモ交ヘ協議ノ結果軍事當局ハ原案通ニ

支六五

本日(二十七日)軍事協定取消調印終了、以來協定存在時ニ於テ兩國(不明)對シ円満ナル提携ヲ保持シ得タルコトニ就キ双方謝意ヲ交換シタル後將來ト雖モ兩國陸軍力從前ノ精神ヲ以テ諸事件ヲ解決シ相互援助スヘキコト協定存在中ニ異ラザランコトヲ希望シ且ツ東支線ニ於ケル駐兵ニ関シテハ東三省外交當局ニ於テ既ニ了解セル所ナルヲ以テ此点ニ就テハ特別ノ厚誼ヲ希望スヘキ旨ヲ申出デタルニ次長金紹曾ハ之ヲ首肯シテ曰ク我陸軍ハ將來尙貴國ノ援助ニ俟タザルベカラザルコト多キヲ以テ協定存在ノ時ヨリ、ヨリ以上ノ親善ヲ望ム尙東支駐兵ハ浦潮ニ於ケル貴國軍隊ノ駐屯シアル以上軍事上必要ノ件ナルコト吾人モヨク諒解シアルヲ以テ將來敢テ抗議スルコトナキヲ信ス云々

一八八 一月二十七日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢棄ニ関スル公文交換公文及覺書ノ

調印並右公表期日打合ノ件

第九〇号(至急) (一月二十八日接受)

往電第七八号ニ関シ

五 日中軍事協定廢棄ニ関スル件 一八八 一八九 一九〇

テ調印シ尙其ノ時期ハ日支兩國外交當局ニテ交換文書案ノ協議成立ノ上ナスコトト決セリ

三、昨二十一日外交部ヨリ熊秘書我公使館ニ来リ交換文書案協議成案ヲ得昨日公使ヨリ請訓セラレタリ

四、依テ右公使請訓ニ對シ回答アリ次第軍事當局間ニ調印ノ予定ナリ

一月二十二日

一八六 一月二十四日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

軍事協定廢止交換公文案ノ一部修正方中国側

申出ニ付回訓ノ件

第四一号 至急

往電第三九号ト行違ヒニ貴電第七一号接到セリ満足云々ノ一節削除方其他修正方貴官ノ裁量ニ依リ可然取計ハレ差支無シ公文案確定ノ上ハ右全文電報アリタシ

一八七 一月二十七日 東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

日中軍事協定廢止後モ日中兩國陸軍力相互援

助ヲ希望スル旨双方挨拶ノ件

陸同文 (写一月二十九日外務省接受)

一月二十七日東少將ト陸軍次長、八角大佐ト海軍部軍務司長トノ間ニ夫々戦争状態終了ニ関スル覺書ニ調印セリ本使外交總長トノ公文交換ハ二十八日ニ又右公文及覺書公表ハ二十九日(三十日ノ新聞ニ掲載)ニ行フコトニ打合セタリ又本使發公文冒頭ニ記入スヘキ外交總長公文番号ハ維字第九号ナリ尚ホ往電第七九号(乙)本使發公文民國七年ハ大正七年ト改ム

一八九 一月二十八日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢棄ニ関スル公文交換終了ノ件

第九七号 (一月二十九日接受)

一月二十八日午後軍事協定廢止ニ関スル公文交換了セリ

一九〇 一月二十八日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

日中軍事協定廢棄ニ関スル公文及覺書写送付

ノ件

附屬書一 一月二十八日附顔外交總長ヨリ小幡公使宛公

文写

二 右同日附小幡公使ヨリ顔外交總長宛公文写

公第四九号

(二月三日接受)

大正十年一月二十八日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

軍事協定取消ニ関スル公文及覚書写送付ノ件

(關係電報 往電第九〇号)

本件ニ関シ左記書類及送付候也

甲号 一月二十八日附外交総長公文写

乙号 同日附外交総長公文写

丙号 一月二十七日附東少将何中将調印覚書写

丁号 一月二十七日附八角大佐陳少将調印覚書写

(附屬書一)

(甲号)

一月二十八日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛公文写

雜字第九号照会

外交総長顔

照会事案照中日兩國前因共同防敵起見曾由本国駐使與

為

貴国外務大臣換文並經兩國軍事當局商定陸軍軍事協定及海

軍軍事協定各在案現中日兩國最高統帥部認為兩國共同防敵

之必要業已消滅應即取消關於中日軍事協定有効期間之協定

以簽名蓋印之日承認為已達戰爭狀態終了之時機經兩國軍事

當局遵此意旨簽訂節略本部查核上開各節認為與事實相符所

有民國七年三月本國駐使與

貴国外務大臣之換文及根拠換文双方訂定之陸海軍軍事協定

並基於該協定所訂各附件均應自本日起完全失其効力為此備

文聲明即希

貴公使查照須至照會者

右 照 會

大日本國欽命駐華全權公使小幡

中華民國十年一月二十八日

(附屬書二)

(乙号)

一月二十八日附小幡公使ヨリ顔外交総長宛公文写

第一一号

以書翰致啓上候陳者本日附雜字第九号貴翰ヲ以テ御申越ノ

趣聞悉日支兩國ハ曩ニ共同防敵ノ為帝国外務大臣ト日本駐

割貴國公使トノ間ニ公文ヲ交換シ且兩國軍事當局者ノ間ニ

陸軍軍事協定及海軍軍事協定ヲ議定シ置キタル処茲ニ日支

兩國最高統帥部ハ兩國共同防敵ノ必要既ニ消滅シタルヲ認

メ日支軍事協定有効期間ニ関スル協定ヲ取消シ署名調印ノ

日ヲ以テ既ニ戰爭狀態終了ノ時機ニ達シタルコトヲ承認シ

兩國軍事當局者ニ於テ右趣旨ニ遵ヒ覚書ニ調印致候查スル

ニ右各節ハ事實ト相符合セルモノト認メ候ニ付大正七年三

月帝国外務大臣ト日本駐割貴國公使トノ交換公文及該交換

公文ニ拠リ双方締結ニ係ル陸海軍軍事協定並該協定ニ基キ

締結セラレタル各附帶文書ハ均シク本日ヨリ完全ニ其ノ効

力ヲ喪失セルコトヲ茲ニ聲明致候右照覆得貴意候 敬具

大正十年一月二十八日

日本帝國特命全權公使 小幡 西吉

支那共和國署理外交総長 顔惠慶殿

(附屬書三)

(丙号)

一月二十七日附陸軍側覚書写

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國共同防敵ノ必要消滅シタル

ヲ認メ茲ニ大正八年二月五日調印ノ日支軍事協定有効期限

ニ関スル協定ヲ取消シ本書調印ノ日ヲ以テ軍事協定第十一

条第二項戰爭狀態終了ノ時機ニ達シタルコトヲ承認ス

大正十年一月二十七日

中華民國十年一月二十七日

日本帝國陸軍代表者 陸軍少将 東乙彦

中華民國陸軍代表者 陸軍中將銜 何思溥

(附屬書四)

(丁号)

一月二十七日附海軍側覚書写

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國共同防敵ノ必要消滅シタル

ヲ認メ茲ニ大正八年三月一日調印ノ日支軍事協定有効期限

ニ関スル協定ヲ取消シ本書調印ノ日ヲ以テ軍事協定第八條

第二項戰爭狀態終了ノ時機ニ達シタルコトヲ承認ス

大正十年一月二十七日

中華民國十年一月二十七日

日本帝國海軍代表者

海軍大佐 八角三郎

中華民國海軍代表者

海軍少将 陳恩燾

一九一 一月二十九日 外務省公表

日中軍事協定廃棄ニ関スル件

大正七年三月本野外務大臣ト本邦駐劄支那特命全權公使トノ間ニ交換セラレタル公文ニ基キ同年五月北京ニ於テ日支兩國陸海軍各委員ノ間ニ協定調印セラレタル日支共同防敵軍事協定廃棄方ニ付兩國当局者間ニ予テ協定中ナリシ処今般彼我ノ意見全ク一致シ本月二十七日ヲ以テ大要左記文書ニ日支陸海軍各代表者ノ調印ヲ了セリ

日支兩國最高統帥部ハ日支兩國共同防敵ノ必要消滅シタルヲ認メ曩ニ調印セル日支軍事協定有効期間ニ関スル協定ヲ取消シ本書調印ノ日ヲ以テ軍事協定ニ規定セラレタル戰爭状態終了ノ時期ニ達シタルコトヲ承認ス

而シテ一方駐支帝國公使ハ支那外交総長トノ間ニ大要左記ノ公文ヲ交換シ以テ日支陸海軍軍事協定並ニ該協定ニ關聯スル各文書ノ効力爰ニ喪失セルコトヲ確認セリ

日支兩國ハ曩ニ共同防敵ノ為メ日本外務大臣ト駐日支那公使トノ間ニ公文ヲ交換シ且兩國軍事当局者間ニ陸海軍各軍事協定ヲ議定シタルカ茲ニ日支兩國最高統帥部ハ兩國共同防敵ノ必要既ニ消滅シタルヲ認メ曩ニ調印セル日

記覽書ノ趣旨ハ事実ト符合セルモノト認メタルニ付大正七年三月ノ交換公文及之ニ基キ締結セラレタル軍事協定並一切ノ附帶文書ハ爰ニ均シク完全ニ其効力ヲ喪失セルコトヲ声明ストノ趣旨ノ公文ヲ交換セリ右覽書及交換公文ノ内容一月二十九日公表セリ
英仏伊ヘ輾電アリタシ

註 客年往電第五三〇号ニ付テハ日本外交文書大正九年第二冊下卷五七二文書(六九〇頁) 參看

一九三 一月三十一日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢止ニ関スル漢字紙ノ論評要旨
報告ノ件

第一〇二号 (二月一日接受)

日支軍事協定ノ廢止愈々確定關係文書發表セラル可シトノ報アルヤ一月二十八日ノ申報ハ兩國当局處理ノ妥當ナルヲ推奨シ且日本ノ為ニ是レ國會ニ於ケル出兵攻撃ノ声焰ヲ殺グニ至ル可シト論ジ二十九日ノ益世報ハ是レ寧ロ日本人ガ其ノ非ヲ悟リタルノ結果ナル可キモ已ニ無効ニ帰シタル協定ヲ形式的ニ取消ス事ハ何等支那人ノ感情ヲ融和スルニ足

支軍事協定有効期間ニ関スル協定ヲ取消シ署名調印ノ日ヲ以テ既ニ戰爭状態終了ノ時機ニ達シタルコトヲ承認シ兩國軍事当局者ニ於テ右ノ趣旨ニ遵ヒ覽書ニ調印ヲ了セリ

査スルニ右各節ハ事実ト相符合セルモノト認メタルニ付大正七年三月兩國ノ間ニ交換セラレタル公文及該交換公文ニ拠リ双方締結ニ係ル陸海軍軍事協定並該協定ニ基キ締結セラレタル各附帶文書ハ爰ニ均シク完全ニ其効力ヲ喪失セルコトヲ聲明ス

一九二 一月二十九日 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

日中軍事協定廢止手續終了ニ関シ通報ノ件
第四三号

客年往電第五三〇号ニ関シ其後協議円満ニ進捗シ一方東支鐵道沿線ニ於ケル駐兵ノ件モ大体ノ了解ヲ得タルニ付一月二十七日日支陸海軍代表者間ニ「日支兩國最高統帥部ハ共同防敵ノ必要消滅シタルヲ認メ本書ニ署名調印ノ日ヲ以テ戰爭状態終了ノ時期ニ達シタルコトヲ承認ス」トノ趣旨ノ覽書ニ調印ヲ了シ一方小幡公使ト支那外交総長トノ間ニ上

ラザル可シト論評シ三十日ノ各漢字新聞ニ取消シ公文ノ發表セラルルヤ同日ノ京報ハ是レ斬内閣ガ国民ノ心理ニ順応セル記ス可キ事件ニテ若シ東支鐵道駐兵問題ノ如キニ至テハ宜シク我が外交当局ノ提議ニ依リ之ヲ実行スル事(脱)ト論評セルモノアルノ外何等論評ヲ試ムルモノナシ

一九四 一月三十一日 東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

日中軍事協定廢止ニ関スル益世報ノ論評報告
ノ件

陸同文
支第七十三号 (二月二日參謀本部ヨリ写接受)

昨日益世報ハ説ヲ為シテ曰ク軍事協約ヲ締結シテ私慾ヲ遂ケントシタル日本ガ其協定ヲ取消シタルヤ怪ムヘシ或ハ之ヲ以テ日支感情融和ノ為ナリト言フモ感情ノ融和ハ斯ル空文ニテハ駄目ナリ日人ニシテ山東ノ利權ヲ返付シ彈春ノ軍警ヲ撤去シ外蒙ノ匪賊ニ日人ノ混入スルモノナキナラハ我國人ノ感情ハ自ラ解クヘシ要スルニ今回ノ取消タル只表面ノ形態ヲ換ヘタルノミ彈春ノ變ニ口実ヲ藉リテ兵ヲ進メ東支沿線ニ駐兵スル等日本ハ口煩サキ協定ヲ取消シ却テ自由

五 日中軍事協定廢棄ニ関スル件 一九五 一九六
ニ東三省ニ盤踞スルニ至レリ云々ト

一九五 二月十六日 在齊々哈爾山崎領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日中軍事協定廢棄ニ伴ヒ我特務機關ニ対スル
中国側ノ動キニ鑑ミ之方対策ニ付請訓ノ件

第二八号

(二月十七日接受)

軍事協定取消ノ結果トシテ現在当地、滿洲里、黒河ニ残留
スル我カ軍事員(特務機關)ニ対スル措置振孫督軍ヨリ中
央政府へ稟請セル趣内偵シタリ右軍事員等ハ露國ニ対スル
軍事關係上当然撤退セザル模様ナルガ若シ然リトセバ早晚
交渉問題トナルベキヲ以テ予メ參謀本部ノ意嚮モ確メ置カ
レ右ニ関スル必要事項ハ当方へモ御訓電アリタシ
公使へスミ

一九六 二月十九日

内田外務大臣ヨリ
在齊々哈爾山崎領事代理宛(電報)

軍事員ノ駐在ニ関シ中国側ヨリ問題提起ノ場
合ニ対スル応答振回訓ノ件

事項六 中国へノ兵器供給ニ関スル件

一九七 一月七日 内田外務大臣ヨリ
在伊國落合大使宛(電報)

中国へノ兵器輸入禁止協定成立前ノ契約履行
認容方ノ我提議ニ対シ英國側回答未到ノ旨回
電ノ件

第四号

客年貴電第二八七号末段ニ関シ我方提議ニ対シ其ノ後英國
大使ヨリ未タ何等ノ回答ニ接セス尤モ駐支英國公使ニ於テ
ハ未タ我方提議ヲ考慮スルノ時機ニアラストノ意見ヲ有ス
ルモノノ如ク旁々本件商議ニ付テハ今後尚多少ノ紆余曲折
ヲ免カレ難キヤニ想察セラル尙我方提議ハ迭次ノ往電ニテ
申進シタル通り今後一般ニ兵器輸入ノ禁ヲ解カムトスルモ
ノニハ非シテ差当リ一昨年四月兵器輸入差止めニ関スル
列國協定成立前契約ヲ締結セルモノニ限り此ノ際之カ履行
ヲ認容セムトスルニ過キササル次第ナリ為念申添ユ

註 大正九年十二月三十日落合大使宛内田外務大臣宛第二八七
号省略セルガ其末段左ノ通

「貴電第一一三号本邦ニ於ケル御交渉ハ如何ナル成行ナ
六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 一九七 一九八

二八六

第七号

貴電第二八号ニ関シ軍事員ノ駐在ハ北滿駐兵ニ伴フモノニ
シテ右ハ軍事協定トハ全然別問題ナルノミナラズ右協定取
消前支那当局ニ於テハ我北滿駐兵ノ必要ナル所以ヲ認メ今
後之ニ対シ抗議セザルコトニ内密ノ諒解成立シ居ルニ付今
後問題ヲ生ズルノ懸念ナシト存ズルモ万一貴地ニ於テ支那
官憲ヨリ何等抗議ニ接セラレタル場合ニハ単ニ軍事員ノ駐
在ハ東支沿線駐兵ト同一ノ必要ニ基キ且其ノ一部ヲナスモ
ノニシテ貴地方限リノ問題ニアラザルヲ以テ中央ニ於テ交
渉セラレ度旨輕ク応答シ置カレタシ
在支公使へ転電アリタシ

リヤ英國側ニ於テ同意スベキ見込アル次第ナリヤ心得ト
ナルベキ事柄電報ヲ請フ

尚右ニ援用セラレ居ル外務大臣發落合大使宛第一一三号ニ
就イテハ日本外交文書大正九年第二冊上卷五一二文書(六
三三頁)参照

一九八 一月八日

日本外務省ヨリ
在本邦英國大使館宛

大連及青島ニ対スル武器輸入問題ニ関シ日本
政府ト協議シタキ旨ノ申出ニ対シ同意ノ旨回
答ノ件

口上書

英國大使館ハ客年十二月六日付口上書ヲ以テ英國政府カ滿
洲内地ニ供給セラルル疑アル同國人ノ大連向武器輸出許可
出願ニ対シ許可ヲ与ヘザリシ旨ヲ報スルト共ニ大連及青島
ニ対スル武器輸入制限ニ関シ日本政府ト協議スヘキ旨本國
政府ノ訓令ニ接セラレタル旨通報セラレタルニ対シ日本外
務大臣ハ左ノ通回答セントス

支那ニ対スル武器供給停止ニ関スル列國間ノ協定成立以來

二八七